

作品番号044-1

当建築のエネルギー利用の特徴

全館(殆どの床面積)に床暖房を敷設

省エネルギーと快適性の面で、床暖房の優秀性は定評が有るところだが、本作品では図示の如く居室の殆ど(約 66 m² : 40 畳)に床暖房を敷設した。

その為に建物内での室温の変化は少なく、健康に与えるヒートショックの心配も無く、当然に他の暖房設備の必要性は全くない。

床暖房は夜間電力利用のタンク蓄熱方式

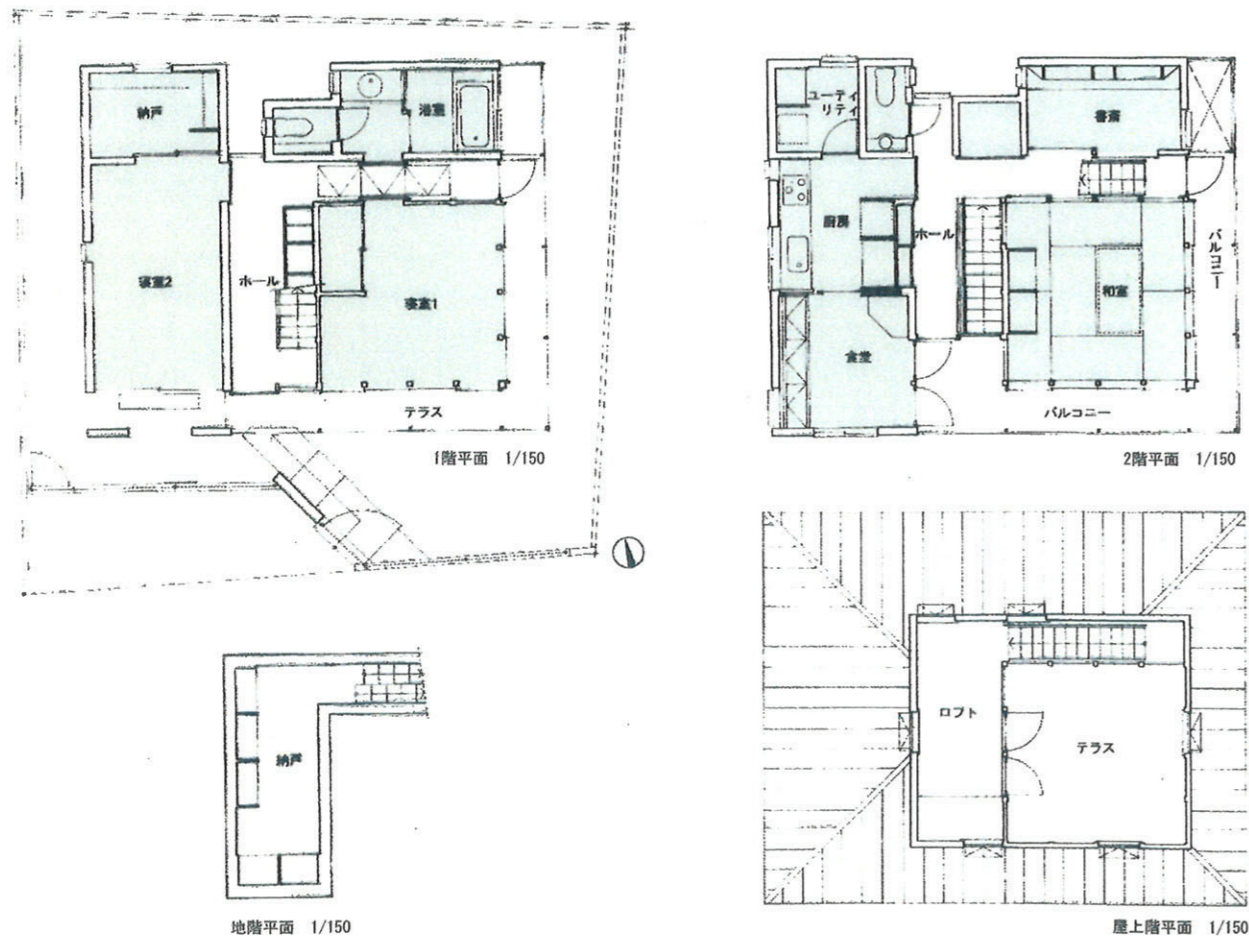
電力料金メニューは「低圧蓄熱調整契約」を採用。

この電力料金メニューはエコアイスのメニューであるが床暖房や給湯にも利用出来る。

この電力料金メニューの夜間電力料金は非常に安価であると共に、不足分は昼間の電力も比較的安価に使用できるので経済的及び熱量的に灯油やガスに対抗しうるエネルギーとしては好適である。

夜間電力は化石燃料の使用比率が少ないので、CO₂の排出量も削減出来る。

■ 配置平面図 (必ず枠内に方位、室内外の機器の配置、床暖房敷設場所等を示して下さい。図面貼付も可)



夜間電力利用の床暖房を敷設した建築の概要を示す写真を枠内に添付して下さい。レイアウトは自由です。

整理番号

004